



2006.10.27(fri)
18:30~20:00
(open 18:00)

本学人間館 NA302
当日先着順・入場無料

中谷礼仁 建築を運動する

建築を運動の過程の一断面としてとらえること。

建築は様々な人、情報をむかえいれる流路とともにその抵抗(かたち)でもある。

建築を流路と抵抗とのレンジの中で考えると、従来の建築観は修正されていく。

使い古された建築の領域をいったん留保して、建築の外延を広げてみたい。

と思いついた当方は、本職の建築史から一歩踏み出し、

アジアでのワークショップやら、素人出版運動やいろいろなことをやりはじめた。

そんな中で考えたり、出会ったこと、そしてこれから行なうであろう計画を紹介してみたい。

世界は有限だが、その使い方はまだまだ余地がある。

中谷礼仁(なかたにのりひと) 歴史工学研究

1965年東京生まれ。1987年早稲田大学理工学部建築学科卒業。1989年同大学院修士課程修了。
1989~92年清水建設株式会社設計本部。1992年~1995年早稲田大学大学院後期博士課程。
1994-7年早稲田大学理工学部助手。1996-1999年早稲田大学理工学総合研究センター客員講師。
1999年、大阪市立大学工学部建築学科建築デザイン専任講師(建築史担当)。2005年同助教授。

受賞

2000年度建築学会奨励賞(論文)

主な著書

『セヴェラルネス 事物連鎖と人間』(鹿島出版会、2005年)

『岩波講座 都市の再生を考える!都市とは何か』(間宮陽介編、岩波書店、2005年)

『近世建築論集』(アセテート、2004年)

『うごくモノ-時間・空間・コンテキスト-』(共著、東京文化財研究所編、平凡社制作、2004年)

『清水建設二百年』(共著、清水建設株式会社、2003年)

『国学・明治・建築家』(蘭亭社、1993年)

『日本建築様式史』(共著、美術出版社、1999年)

『数寄屋の森』(共著、丸善、1995年)

『磯崎新の革命遊戯』(共著、DTC出版、1996年)など。

設計作品

『63』(大阪・福島区、住宅特集2001年6月、住宅建築2001年11月)

『甲羅ホテル』設計(岡崎乾二郎構想、LLP吉川の鯨施工、横浜BankART1929、3F内 限定展示)など。

ワークショップ

灰塚アースワーク・サマーキャンプ講師(1999-2003)、mAA・上海ワークショップにユニットマスター参加(2004)

四谷アート・ステュディオムにて、バタン・ランゲージを再活用した「詩人の家」ワークショップ(2005)

山口情報芸術センターにてタンスユニット「ちくは」とバタンランゲージによるタンスパフォーマンス(アドバイザー参加)(2006)

主催:

京都造形芸術大学通信教育部建築デザインコース

お問い合わせ:

京都造形芸術大学

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

Tel. 075-791-9122 (代表)

http://kirara.cyber.kyoto-art.ac.jp/

アクセス:

■バス

地下鉄丸線北大路駅より市バス204系統

京阪出町柳駅より市バス上終町3系統

京阪三条駅より市バス5系統

阪急河原町駅より市バス5系統・上終町3系統

JR京都駅より市バス5系統

→上終町京都造形芸術大学前下車

■電車

京阪出町柳駅より叡山電車乗り換え

→叡山電車茶山駅より徒歩10分



※本学には駐車場がありません。車での御来場は御遠慮下さい。

Image: BankART1929(横浜)にて「甲羅ホテル」の設計(岡崎乾二郎、吉川の鯨岸本耕と)、2005年

